

COVID-19対策には換気管理が最重要!

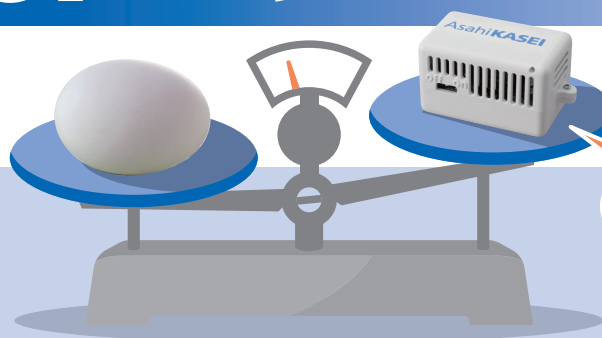
感染対策に欠かせない換気。必要な換気量を確保するためには、二酸化炭素濃度を概ね1,000ppm以下に維持することが大切です。必要換気量を満たしているかを確認する方法として、二酸化炭素濃度測定器(CO₂センサ)の活用が効果的であるとされています。

※二酸化炭素濃度 1,000ppm 以下については目安であり、適切な換気や気流となっていることが重要。

出典:新型コロナウイルス感染症対策分科会「感染拡大防止のための効果的な換気について」



旭化成のCO₂センサ



どこにでも
置ける

持ち運びに便利な
45g

小さく軽い鶏卵サイズ
両面テープで磁石を貼れば
設置場所は自由自在。

内蔵バッテリーで1年間稼働*

コンセント位置を気にせず設置可能。充電は市販のUSBケーブルで。

※1分ごとにセンシングの場合



センシングは高精度のNDIR方式

経済産業省がガイドブックで推奨する光学式。



自社製

センシング部は弊グループ会社のスウェーデン Senseair 社で製造。



AsahiKASEI

旭化成株式会社
ライフノベーション事業本部

（お問合せは
WEBから）

<https://www.ak3cs.com/>
ak3cs@om.asahi-kasei.co.jp



AsahiKASEI

旭化成が提供する2つのソリューション

デバイス

旭化成のCO₂センサ



アプリ

換気Patrol

CO₂センサ
1つを携帯し
複数の部屋を
パトロール!



持ち運び便利 センサは1つでOK!

レポート作成や、いざという時の原因究明に

CO₂濃度と現場写真を一緒に保存でき、メモも記録できる!

こんな
施設様に

- ✓ 換気はしているがCO₂濃度は確認していない
- ✓ たくさんの部屋にセンサを設置するのは費用が掛かる
- ✓ 施設の混雑状況など、数値以外の情報も記録したい



タップで撮影画面に!

【2022年度限定 売り切りキャンペーン】

CO₂センサ1台 17,600円(税込) + 換気Patrolアプリ 16,500円(税込)

デバイス

旭化成のCO₂センサ



クラウド

クラウド版

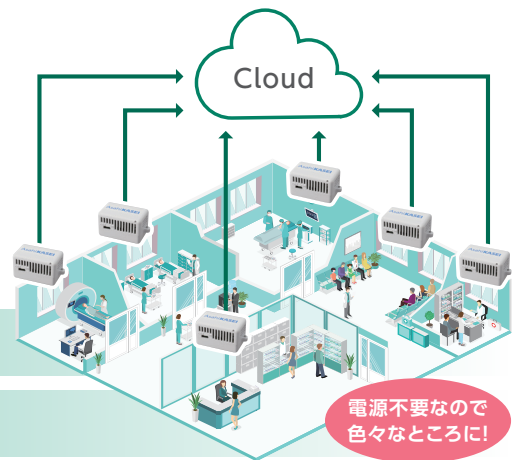
各部屋のセンサを感染制御室で一括管理

日々の換気管理や環境改善に

CO₂濃度が設定を越えると管理者に通知されるので安心!

こんな
施設様に

- ✓ 換気状況が悪化したら即座に対応したい
- ✓ 一定期間、CO₂濃度を常時記録して、換気できていない場所を把握したい
- ✓ 各部屋のデータを管理しまとめるのは大変



【1ヶ月レンタルパック】 \ 設置場所のコンサルティング&レポート付 /

CO₂センサ(+中継機) 20台 + クラウド 547,800円(税込)

— こんなところの換気管理に —

診察室 / 待合室 / 面会室 / X線室 / トイレ / ナースステーション などに

AsahiKASEI